

・ 歯科材料における安全性試験の比較検討

ミリポアフィルター重層法、及び寒天重層法における感度(最終検出濃度)再現性の検討を行った。

試料として dibutyltin diacetate (エタノールにて 50%溶液としたものを使用) を用いて、ミリポアフィルター重層法、及び寒天重層法を行った。

共に細胞と試料が直接接触させる方法に比べ、毒性検出は低い。しかし、試料を直接接触させた時に生じる物理的、機械的損傷を除くことができる。

ミリポアフィルター重層法は結果としてフィルターが残るため判定しやすいが、寒天重層法は、顕微鏡観察での判定のため主観が入る。

試験方法を比較してみると、それぞれ試料により毒性の現れ方が違うのでその点の比較は困難と思われ、両者の試験法ともそれぞれにまだ問題が残されていると考えられる。